



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 オルガノ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 園部 茂 (TEL) 03-5635-5111
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|---------|------|--------|------|--------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 150,356 | 13.5 | 22,544 | 48.2 | 23,425 | 46.2 | 17,310 | 47.6 |
| 2023年3月期 | 132,426 | 18.2 | 15,212 | 40.2 | 16,020 | 38.8 | 11,730 | 27.4 |

(注) 包括利益 2024年3月期 19,112百万円(51.7%) 2023年3月期 12,602百万円(21.1%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2024年3月期 | 376.92 | — | 18.4 | 13.5 | 15.0 |
| 2023年3月期 | 255.77 | — | 14.5 | 10.8 | 11.5 |

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 203百万円 2023年3月期 208百万円

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 182,703 | 102,147 | 55.8 | 2,218.53 |
| 2023年3月期 | 164,854 | 86,371 | 52.3 | 1,877.80 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 101,928百万円 2023年3月期 86,170百万円

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2024年3月期 | 3,726 | △1,415 | △641 | 17,642 |
| 2023年3月期 | △18,536 | △1,309 | 14,706 | 15,558 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2023年3月期 | — | 116.00 | — | 33.00 | — | 2,853 | 24.2 | 3.5 |
| 2024年3月期 | — | 41.00 | — | 61.00 | 102.00 | 4,694 | 27.1 | 5.0 |
| 2025年3月期(予想) | — | 53.00 | — | 53.00 | 106.00 | | 30.2 | |

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期第2四半期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割前の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割後の基準で換算した2023年3月期の1株当たり年間配当金は62円となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 70,000 | 6.9 | 8,500 | 8.2 | 8,500 | △0.5 | 5,500 | △0.7 | 119.71 |
| 通期 | 155,000 | 3.1 | 23,000 | 2.0 | 23,000 | △1.8 | 16,100 | △7.0 | 350.43 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年3月期 | 46,359,700株 | 2023年3月期 | 46,359,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期 | 415,524株 | 2023年3月期 | 470,795株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2024年3月期 | 45,925,048株 | 2023年3月期 | 45,863,749株 |

(注)

1. 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。
2. 当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期 | 92,440 | 17.9 | 12,885 | 45.9 | 16,102 | 46.0 | 12,673 | 47.5 |
| 2023年3月期 | 78,387 | 11.9 | 8,834 | 30.4 | 11,026 | 27.2 | 8,593 | 14.9 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2024年3月期 | 275.96 | | — | | | | | |
| 2023年3月期 | 187.36 | | — | | | | | |

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年3月期 | 133,909 | 78,491 | 58.6 | 1,708.41 |
| 2023年3月期 | 125,235 | 68,824 | 55.0 | 1,499.80 |

(参考) 自己資本 2024年3月期 78,491百万円 2023年3月期 68,824百万円

当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

<個別業績の前期実績値との差異理由>

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当期の経営成績の概況」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 6 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 6 |
| (4) 今後の見通し | 7 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 7 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 8 |
| (1) 連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 10 |
| 連結損益計算書 | 10 |
| 連結包括利益計算書 | 11 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 12 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 14 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 16 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 16 |
| (表示方法の変更) | 16 |
| (セグメント情報等) | 16 |
| (1株当たり情報) | 19 |
| (重要な後発事象) | 20 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）における世界経済は、中国景気の減速や中東などにおける地政学的リスクの高まりが影響する中、好調な米国経済の動向を背景に底堅い推移がみられ、わが国においてもマイナス金利の解除による17年ぶりの利上げや、日経平均株価が最高値を34年ぶりに更新するなど、経済が上向きとなる動きが見られつつあります。

当社グループの主力市場である電子産業分野においても、AI（人工知能）などに向けた最先端半導体の投資に加え、EV（電気自動車）などに向けたパワー半導体や車載用半導体、シリコンウェハーなど半導体材料に対する設備投資が高い水準で推移いたしました。また一般産業分野においては医薬・化粧品分野や電子周辺分野などで設備投資に活発な動きが見られ、電力・上下水分野は原子力発電所の再稼働に向けたソリューションサービスなどが堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループは国内・海外で大型プロジェクトの受注・納入活動を推進するため、エンジニアリングやソリューションサービスの体制整備や、デジタル技術を活用した業務効率化、グローバルでのサプライチェーン強化やパートナー企業との連携など生産・納入キャパシティの拡大に取り組んでおります。また、次世代の技術や新たな事業の創出を目指した研究開発活動の強化や、人材の確保と育成、サステナビリティやガバナンスの高度化に向けた取組みの拡充などを進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度は受注高144,468百万円（前連結会計年度比16.7%減）、売上高150,356百万円（同13.5%増）、営業利益22,544百万円（同48.2%増）、経常利益23,425百万円（同46.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益17,310百万円（同47.6%増）となり、ROE（自己資本当期純利益率）は18.4%（前連結会計年度は14.5%）となりました。受注高は大型案件の投資が相次いだ前年度から減少しておりますが、売上高及び各利益は前年度の実績及び期初の計画を上回り、前年度に続いて過去最高となる水準を達成いたしました。また、翌年度以降の売上のベースとなる繰越受注残は115,618百万円（同1.7%減）となり、半導体関連の大型プロジェクトなどを中心に引き続き高い水準の受注残高を確保しております。

| 区 分 | 第78期 2023年3月期 | 第79期 (当連結会計年度) 2024年3月期 | | 前連結 会計年度比 | 計画比 |
|---------------------------|------------------|-------------------------------|---------|--------------|--------|
| | | 期初計画 | 実績 | | |
| 受注高 (百万円) | 173,491 | 150,000 | 144,468 | △16.7% | △3.7% |
| 繰越受注残高 (百万円) | 117,659 | 117,659 | 115,618 | △1.7% | △1.7% |
| 売上高 (百万円) | 132,426 | 150,000 | 150,356 | +13.5% | +0.2% |
| 営業利益 (百万円) | 15,212 | 16,000 | 22,544 | +48.2% | +40.9% |
| 売上高営業利益率 (%) | 11.5 | 10.7 | 15.0 | — | — |
| 経常利益 (百万円) | 16,020 | 16,000 | 23,425 | +46.2% | +46.4% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円) | 11,730 | 11,200 | 17,310 | +47.6% | +54.6% |
| 自己資本当期純利益率 (ROE) (%) | 14.5 | 12.6 | 18.4 | — | — |

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

水処理エンジニアリング事業

売上高構成比
85.1%

| | | |
|------|-------------|------------------|
| 受注高 | 1,221億22百万円 | (前連結会計年度比19.9%減) |
| 売上高 | 1,279億95百万円 | (前連結会計年度比14.7%増) |
| 営業利益 | 195億82百万円 | (前連結会計年度比51.0%増) |

主要な事業内容

●事業内容・主要製品

| プラント事業 | ソリューション事業 |
|-------------|---------------------|
| 純水・超純水製造設備 | 消耗品交換 |
| 用水処理設備 | メンテナンス |
| 排水処理・排水回収設備 | 運転管理 |
| 有価物回収設備 | 改造工事 |
| プロセス関連設備 | 水処理加工受託 包括メンテナンス |

●顧客・対象市場

| 電子産業 | 電力・上下水 | 一般産業 |
|-------|--------|--------|
| 半導体 | 発電所 | 医薬／化粧品 |
| F P D | 浄水場 | 食品／飲料 |
| 電子部品 | 下水処理場 | 機械／化学 |

■受注高

受注高は前連結会計年度比19.9%減となる122,122百万円となりました。電子産業分野は国内でシリコンウェハー関連やパワー半導体向けの大型案件を受注したものの、前年度に中国・台湾・マレーシアなどで大型の半導体案件の受注が相次いだ反動により海外での受注が縮小した影響で受注高が減少しております。一方、一般産業分野では医薬分野や電子周辺分野のプラント案件の受注、電力・上下水など社会インフラ分野では原子力発電所の再稼働に向けたソリューション案件の受注などによって受注高が増加いたしました。

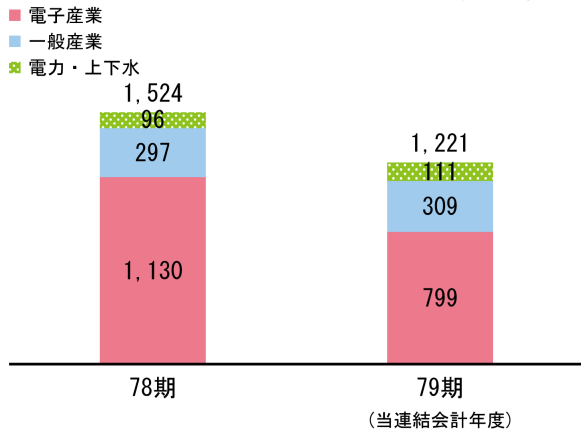
■売上高

売上高は前連結会計年度比14.7%増となる127,995百万円となりました。電子産業分野において、半導体関連など受注した大型案件の工事が概ね順調に進捗していることや、国内の半導体工場に向けた設備保有型サービスの拡大や各種のメンテナンスの増加などソリューションサービスも好調に推移したことなどから売上高が増加しております。また一般産業分野においては受注したプラント案件の工事進捗やメンテナンスなどのソリューション事業の拡大によって売上が増加いたしました。一方、電力・上下水など社会インフラ分野においては浄水場の案件など手持ちのプラント工事が減少したことから売上高が若干減少する結果となりました。

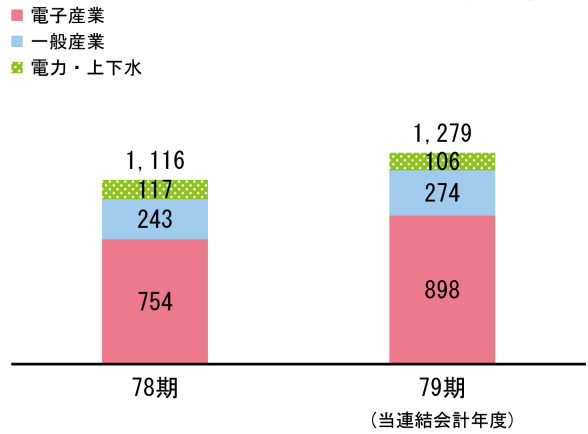
■営業利益

営業利益は、前連結会計年度比51.0%増となる19,582百万円となりました。電子産業分野や一般産業分野における大型プラント案件の増加や比較的収益性の高い設備保有型サービス・各種のメンテナンスなどソリューションサービスの拡大などの効果に加え、活発な設備投資の動向などを背景とした受注採算性の改善や各種の原価低減・収益改善の取組みなどによって売上総利益率が向上したことにより、営業利益が拡大しております。

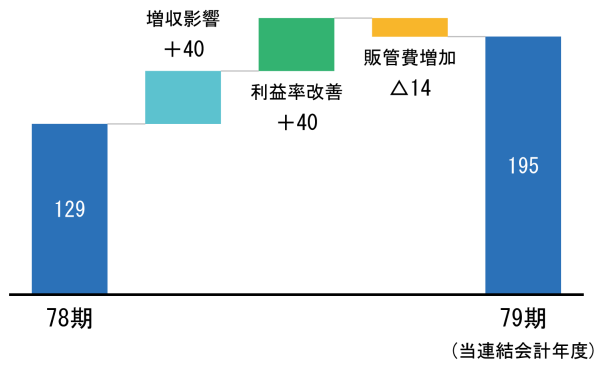
水処理エンジニアリング事業 分野別受注高
(単位：億円)



水処理エンジニアリング事業 分野別売上高
(単位：億円)



水処理エンジニアリング事業
営業利益増減要因分析
(単位：億円)



[機能商品事業]

機能商品事業

| | | | |
|-----------------|------|-----------|------------------|
| 売上高構成比 14.9% | 受注高 | 223億46百万円 | (前連結会計年度比 6.1%増) |
| | 売上高 | 223億60百万円 | (前連結会計年度比 7.4%増) |
| | 営業利益 | 29億61百万円 | (前連結会計年度比31.8%増) |

主要な事業内容

●事業内容・主要製品

| 水処理薬品事業 | 標準型水処理機器・フィルタ事業 | 食品事業 |
|--------------------------------------|--|--|
| RO水処理薬品、排水処理薬品、冷却水処理薬品、洗浄薬品、ボイラ水処理薬品 | 純水・超純水製造装置 浄水フィルタ | 食品素材 食品添加剤 |
| ●顧客・対象市場 各種製造業 ビル／商業施設 | ●顧客・対象市場 医療機関／研究機関 各種製造業 飲食業／コンビニエンスストア | ●顧客・対象市場 食品工場／食品加工業 飲料製造業 介護食／健康食品製造業 |

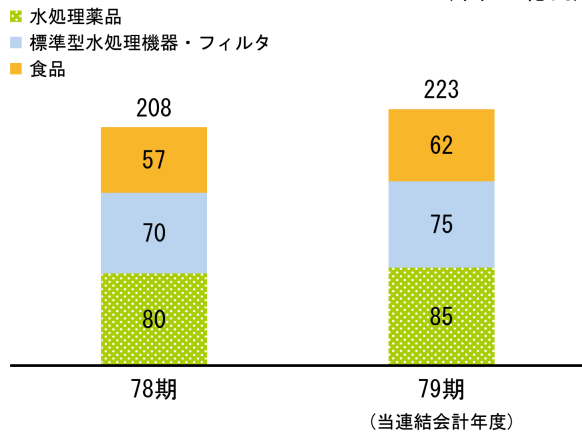
■受注高・売上高

受注高は前連結会計年度比6.1%増となる22,346百万円、売上高は同7.4%増となる22,360百万円となりました。水処理薬品分野ではRO膜処理剤や排水処理剤など電子産業向けの各種水処理薬品の販売が好調に推移し、標準型機器・フィルタ分野では2023年12月に発売したラボラトリー向け超純水装置「ピューリックω（オメガ）II」をはじめとした医療・研究機関向けの小型純水装置や、コーヒーマシーン・自動販売機などに向けた浄水フィルタなどの売上が増加し、また食品分野では加工食品に向けた各種食品添加剤などの販売が好調に推移いたしました。

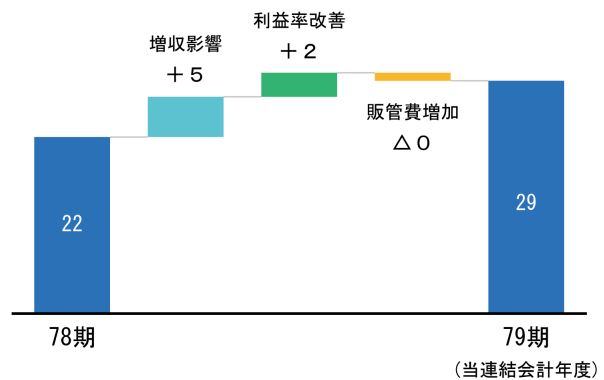
■営業利益

営業利益は前連結会計年度比31.8%増となる2,961百万円となりました。水処理薬品、標準型機器・フィルタ、食品とも販売が好調に推移したことに加え、水処理薬品などで比較的利益率の高い製品が伸長したこと、原材料価格の上昇に伴う値上げなどの価格転嫁が進んだことなどから営業利益が増加しております。

機能商品事業 分野別売上高 (単位：億円)



機能商品事業 営業利益増減要因分析 (単位：億円)



(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ16,703百万円増加し、153,469百万円となりました。これは主に、仕掛品12,664百万円の減少に対し、リース投資資産17,960百万円の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,145百万円増加し、29,233百万円となりました。これは主に、退職給付に係る資産1,139百万円の増加によるものであります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ3,863百万円増加し、72,602百万円となりました。これは主に、短期借入金4,940百万円の増加によるものであります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ1,790百万円減少し、7,953百万円となりました。これは主に、長期借入金1,495百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ15,776百万円増加し、102,147百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等に伴う利益剰余金13,904百万円の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,084百万円増加し、当連結会計年度末には17,642百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、3,726百万円となりました。これは主に、水処理加工受託用設備の建設などによる資金の減少に対し、税金等調整前当期純利益の計上などによる資金の増加があったことによるものであります。（前連結会計年度は18,536百万円の支出）

なお、キャッシュ・フロー計算書におけるリース投資資産の増加額17,960百万円及び棚卸資産の減少額9,128百万円は主に、水処理加工受託用設備の完成により棚卸資産からリース投資資産への振替があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって支出された資金は、1,415百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,191百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前連結会計年度は1,309百万円の支出）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって支出された資金は、641百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額4,676百万円による資金の増加に対して、配当金の支払い額3,405百万円、長期借入金の返済額1,700百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前連結会計年度は14,706百万円の収入）

(4) 今後の見通し

2025年3月期の業績見通しにつきましては受注高155,000百万円（前連結会計年度比7.3%増）、売上高155,000百万円（同3.1%増）、営業利益23,000百万円（同2.0%増）、経常利益23,000百万円（同1.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益16,100百万円（同7.0%減）、自己資本当期純利益率（ROE）15.0%を計画しております。

受注高につきましては、電子産業分野において国内外で計画されている半導体関連の大型プロジェクトを複数受注することや一般産業分野・社会インフラ分野でも前年度を上回る水準の受注を計画しております。売上高につきましては、繰越受注残として抱える大型案件について概ね順調な工事進捗が見込まれることや、設備保有型サービスや納入設備に対するメンテナンス、水処理薬品などの売上拡大を計画しております。また営業利益につきましては、売上の拡大による増収効果によって、エンジニアリングやソリューションなどのキャパシティ拡大に向けた体制強化、人材の育成・活用など人的投資、アウトソーシングやデジタル投資、研究開発などによる費用の増加をカバーし、増益となることを計画しております。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年度に円安の進行による為替差益や有価証券の売却益などが計上されていることなどから減益となる見通しです。

| 区 分 | 2024年3月期 | 2025年3月期 期初計画 | 増減率 |
|---------------------------|----------|------------------|-------|
| 受注高 (百万円) | 144,468 | 155,000 | +7.3% |
| 繰越受注残高 (百万円) | 115,618 | 115,618 | ±0.0% |
| 売上高 (百万円) | 150,356 | 155,000 | +3.1% |
| 営業利益 (百万円) | 22,544 | 23,000 | +2.0% |
| 売上高営業利益率 (%) | 15.0 | 14.8 | — |
| 経常利益 (百万円) | 23,425 | 23,000 | △1.8% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円) | 17,310 | 16,100 | △7.0% |
| 自己資本当期純利益率 (ROE) (%) | 18.4 | 15.0 | — |

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際会計基準）につきましては、今後も国内外の諸情勢等を注視してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 15,558 | 17,642 |
| 受取手形 | 1,026 | 1,144 |
| 売掛金 | 39,470 | 42,977 |
| 電子記録債権 | 2,826 | 4,452 |
| 契約資産 | 32,359 | 33,651 |
| リース投資資産 | 9,853 | 27,814 |
| 商品及び製品 | 7,165 | 7,707 |
| 仕掛品 | 21,886 | 9,221 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,744 | 4,902 |
| その他 | 4,891 | 3,978 |
| 貸倒引当金 | △17 | △23 |
| 流動資産合計 | 136,765 | 153,469 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 19,183 | 19,526 |
| 減価償却累計額 | △13,104 | △13,550 |
| 建物及び構築物（純額） | 6,078 | 5,976 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,582 | 6,706 |
| 減価償却累計額 | △5,452 | △5,828 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,129 | 877 |
| 土地 | 12,296 | 12,304 |
| 建設仮勘定 | 118 | 148 |
| その他 | 5,955 | 6,557 |
| 減価償却累計額 | △4,784 | △5,229 |
| その他（純額） | 1,171 | 1,327 |
| 有形固定資産合計 | 20,795 | 20,634 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 949 | 986 |
| 投資有価証券 | 2,430 | 2,835 |
| 退職給付に係る資産 | 815 | 1,955 |
| 繰延税金資産 | 2,673 | 2,404 |
| その他 | 596 | 600 |
| 貸倒引当金 | △171 | △183 |
| 投資その他の資産合計 | 6,343 | 7,613 |
| 固定資産合計 | 28,088 | 29,233 |
| 資産合計 | 164,854 | 182,703 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当連結会計年度 (2024年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,904 | 19,842 |
| 電子記録債務 | 4,640 | 2,839 |
| 短期借入金 | 29,124 | 34,065 |
| 未払法人税等 | 3,014 | 3,605 |
| 契約負債 | 3,007 | 3,920 |
| 賞与引当金 | 1,594 | 1,890 |
| 製品保証引当金 | 548 | 1,686 |
| 工事損失引当金 | 512 | 83 |
| 役員株式給付引当金 | 105 | 107 |
| その他 | 5,284 | 4,561 |
| 流動負債合計 | 68,738 | 72,602 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,895 | 2,400 |
| 繰延税金負債 | 91 | 59 |
| 退職給付に係る負債 | 5,511 | 5,344 |
| その他 | 245 | 149 |
| 固定負債合計 | 9,744 | 7,953 |
| 負債合計 | 78,483 | 80,555 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,225 | 8,225 |
| 資本剰余金 | 7,508 | 7,508 |
| 利益剰余金 | 69,002 | 82,907 |
| 自己株式 | △613 | △518 |
| 株主資本合計 | 84,123 | 98,122 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 539 | 774 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | — |
| 為替換算調整勘定 | 1,191 | 1,923 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 317 | 1,108 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,047 | 3,805 |
| 非支配株主持分 | 201 | 219 |
| 純資産合計 | 86,371 | 102,147 |
| 負債純資産合計 | 164,854 | 182,703 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 132,426 | 150,356 |
| 売上原価 | 97,449 | 106,514 |
| 売上総利益 | 34,976 | 43,841 |
| 販売費及び一般管理費 | 19,763 | 21,297 |
| 営業利益 | 15,212 | 22,544 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 35 | 138 |
| 受取配当金 | 44 | 47 |
| 為替差益 | 559 | 546 |
| 持分法による投資利益 | 208 | 203 |
| その他 | 130 | 205 |
| 営業外収益合計 | 978 | 1,142 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 159 | 240 |
| その他 | 10 | 20 |
| 営業外費用合計 | 170 | 261 |
| 経常利益 | 16,020 | 23,425 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5 | 13 |
| 投資有価証券売却益 | 40 | 191 |
| 子会社清算益 | — | 57 |
| 特別利益合計 | 46 | 262 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産廃棄損 | 28 | 55 |
| 投資有価証券売却損 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 31 | 55 |
| 税金等調整前当期純利益 | 16,035 | 23,633 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,628 | 6,503 |
| 法人税等調整額 | △357 | △205 |
| 法人税等合計 | 4,270 | 6,298 |
| 当期純利益 | 11,764 | 17,334 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 34 | 24 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 11,730 | 17,310 |

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 11,764 | 17,334 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 104 | 232 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2 | 2 |
| 為替換算調整勘定 | 625 | 748 |
| 退職給付に係る調整額 | 110 | 792 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 2 |
| その他の包括利益合計 | 837 | 1,777 |
| 包括利益 | 12,602 | 19,112 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 12,559 | 19,068 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 43 | 43 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,225 | 7,508 | 59,619 | △734 | 74,617 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,347 | | △2,347 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 11,730 | | 11,730 |
| 自己株式の取得 | | | | △4 | △4 |
| 自己株式の処分 | | 0 | | 125 | 125 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 0 | 9,383 | 121 | 9,505 |
| 当期末残高 | 8,225 | 7,508 | 69,002 | △613 | 84,123 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|---------|--------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 434 | △0 | 575 | 208 | 1,218 | 168 | 76,004 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △2,347 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | 11,730 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △4 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 125 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 104 | △2 | 616 | 109 | 828 | 32 | 861 |
| 当期変動額合計 | 104 | △2 | 616 | 109 | 828 | 32 | 10,366 |
| 当期末残高 | 539 | △2 | 1,191 | 317 | 2,047 | 201 | 86,371 |

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 8,225 | 7,508 | 69,002 | △613 | 84,123 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,405 | | △3,405 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 17,310 | | 17,310 |
| 自己株式の取得 | | | | △2 | △2 |
| 自己株式の処分 | | | | 97 | 97 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 13,904 | 95 | 13,999 |
| 当期末残高 | 8,225 | 7,508 | 82,907 | △518 | 98,122 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|----------------------|-------------|--------------|----------------------|-----------------------|---------|---------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付 に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 539 | △2 | 1,191 | 317 | 2,047 | 201 | 86,371 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △3,405 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | | 17,310 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △2 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 97 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 234 | 2 | 731 | 790 | 1,758 | 17 | 1,776 |
| 当期変動額合計 | 234 | 2 | 731 | 790 | 1,758 | 17 | 15,776 |
| 当期末残高 | 774 | — | 1,923 | 1,108 | 3,805 | 219 | 102,147 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 16,035 | 23,633 |
| 減価償却費 | 1,824 | 2,010 |
| 引当金の増減額 (△は減少) | 652 | 1,111 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 171 | 64 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △211 | △239 |
| 受取利息及び受取配当金 | △80 | △186 |
| 支払利息 | 159 | 240 |
| 為替差損益 (△は益) | △233 | △43 |
| 子会社清算損益 (△は益) | — | △57 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △208 | △203 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △4 | △13 |
| 固定資産廃棄損 | 28 | 55 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △39 | △191 |
| 売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加) | △19,954 | △4,825 |
| リース投資資産の増減額 (△は増加) | 1,439 | △17,960 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △17,295 | 9,128 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 664 | △3,721 |
| その他 | 1,666 | 814 |
| 小計 | △15,384 | 9,614 |
| 利息及び配当金の受取額 | 93 | 198 |
| 利息の支払額 | △168 | △238 |
| 保険金の受取額 | 71 | 114 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △3,147 | △5,965 |
| その他 | — | 3 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △18,536 | 3,726 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,205 | △1,191 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5 | 14 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △247 | △456 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △301 | △2 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 73 | 254 |
| 貸付けによる支出 | — | △30 |
| 貸付金の回収による収入 | 300 | — |
| その他 | 64 | △5 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,309 | △1,415 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 19,138 | 4,676 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,900 | △1,700 |
| 自己株式の取得による支出 | △4 | △2 |
| 配当金の支払額 | △2,347 | △3,405 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △10 | △25 |
| その他 | △170 | △184 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 14,706 | △641 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 500 | 415 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △4,639 | 2,084 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 20,198 | 15,558 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 15,558 | 17,642 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「デリバティブ評価損益(△は益)」は、重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「デリバティブ評価損益(△は益)」に表示していた△5百万円、「その他」1,672百万円は、「その他」1,666百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部制を採用しており、各事業部等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部等を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、経済的特徴や製品の性質、サービスの内容が概ね類似しているものを集約した「水処理エンジニアリング事業」及び「機能商品事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要製品及び事業内容は、以下のとおりであります。

| 報告セグメント | 主要製品・事業内容 | |
|---------------|-----------------|--|
| 水処理エンジニアリング事業 | プラント事業 | 純水・超純水製造設備、用水処理設備、排水処理・排水回収設備、有価物回収設備、プロセス関連設備 |
| | ソリューション事業 | 消耗品交換、メンテナンス、運転管理、改造工事、水処理加工受託、包括メンテナンス |
| 機能商品事業 | 水処理薬品事業 | RO水処理薬品、排水処理薬品、冷却水処理薬品、洗浄薬品、ボイラ水処理薬品 |
| | 標準型水処理機器・フィルタ事業 | 純水・超純水製造装置、浄水フィルタ |
| | 食品事業 | 食品素材、食品添加剤 |

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高等は、市場価格等を勘案して一般取引条件と同様に決定しております。

また、セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 |
|--------------------|-------------------|------------|---------|--------------|---------------|
| | 水処理エンジニアリング 事業 | 機能商品 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 111,601 | 20,824 | 132,426 | — | 132,426 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 347 | 348 | △348 | — |
| 計 | 111,602 | 21,172 | 132,774 | △348 | 132,426 |
| セグメント利益 | 12,966 | 2,246 | 15,212 | — | 15,212 |
| セグメント資産 | 141,199 | 18,387 | 159,587 | 5,266 | 164,854 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 1,476 | 347 | 1,824 | — | 1,824 |
| 持分法適用会社への投資額 | 1,305 | — | 1,305 | — | 1,305 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 1,232 | 234 | 1,466 | — | 1,466 |

(注) 1 セグメント資産の調整額5,266百万円は、主に繰延税金資産及び長期投資資金（投資有価証券）等でありませ

2 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結財務諸表 計上額 |
|--------------------|-------------------|------------|---------|--------------|---------------|
| | 水処理エンジニアリング 事業 | 機能商品 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 127,995 | 22,360 | 150,356 | — | 150,356 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 395 | 396 | △396 | — |
| 計 | 127,996 | 22,756 | 150,752 | △396 | 150,356 |
| セグメント利益 | 19,582 | 2,961 | 22,544 | — | 22,544 |
| セグメント資産 | 157,765 | 17,542 | 175,308 | 7,394 | 182,703 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 1,668 | 341 | 2,010 | — | 2,010 |
| 持分法適用会社への投資額 | 1,500 | — | 1,500 | — | 1,500 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 1,483 | 372 | 1,855 | — | 1,855 |

(注) 1 セグメント資産の調整額7,394百万円は、主に繰延税金資産、退職給付に係る資産及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

2 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | 台湾 | 中国 | 東南アジア | その他 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 82,796 | 23,504 | 11,691 | 10,217 | 4,216 | 132,426 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の内容を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | 台湾 | 中国 | 東南アジア | その他 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 96,544 | 18,555 | 19,996 | 13,110 | 2,149 | 150,356 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|--|--------|---------------|
| Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd. | 23,198 | 水処理エンジニアリング事業 |

(注) Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd. 及び同一の企業集団に対する売上高を含めております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,877.80円 | 2,218.53円 |
| 1株当たり当期純利益 | 255.77円 | 376.92円 |

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
 2 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
 3 役員向け株式交付信託が保有する当社普通株式を、当連結会計年度の1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度末133千株、当連結会計年度末77千株)。また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度158千株、当連結会計年度96千株)。
 4 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 11,730 | 17,310 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 11,730 | 17,310 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 45,863 | 45,925 |

- 5 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度末 (2023年3月31日) | 当連結会計年度末 (2024年3月31日) |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(百万円) | 86,371 | 102,147 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) | 201 | 219 |
| (うち非支配株主持分(百万円)) | (201) | (219) |
| 普通株式に係る期末の純資産額 (百万円) | 86,170 | 101,928 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株) | 45,888 | 45,944 |

(重要な後発事象)

(連結子会社との吸収合併)

当社は、2023年10月25日開催の取締役会において、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であるオルガノエコテクノ株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」）を行うことを決議し、同日付で合併契約を締結し、2024年4月1日付で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

(吸収合併存続会社)

①企業の名称 オルガノ株式会社

②事業の内容 水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品、食品加工材の販売

(吸収合併消滅会社)

①企業の名称 オルガノエコテクノ株式会社

②事業の内容 水処理設備、装置の製造、販売、メンテナンス及び水処理薬品の販売

(2) 企業結合日

2024年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、オルガノエコテクノ株式会社を消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

オルガノ株式会社

(5) その他取引の概要に関する事項

中期経営計画で定めたエンジニアリング体制の強化を目的とし、経営資源の集中と効率的な納入体制を構築するために、同社を吸収合併することを決定いたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき共通支配下の取引として処理しております。